

事業者向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動によってエリアを設定し、十分なスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			必要とされる配置数に加え、保育士を1名以上配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		構造化し本人に合った生活空間を提供しております。玄関のみ若干の段差がありますが活動スペースは整備し安全なスペースを確保しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			更に消毒もこまめに行い安心して過ごせる環境を提供しております。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			毎日の小ミーティング、月1回の支援会議の中で目標の評価、見直しを行っています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者様への事業所評価アンケートを配布。業務や支援内容の改善に努めています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			保護者様へのアンケート結果に基づき、自己評価を行っている。自己評価表はホームページにて公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがる・コンサルの方業務に訪問して頂き評価を受け業務改善につなげています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			スタッフに向けて年間の研修プログラムを公開し参加を促しています。オンライン開催も増え参加しやすくなりました。

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		日々の関わりからアセスメントを行い、保護者様のニーズも取り入れた支援計画書を作成しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		札幌市自閉症・発達障がい支援センターおがるより指導を受け、一人ひとりに合わせたアセスメントを実施しています。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○		過去にはペアレントメンターさんを招き、経験談等をお聞きしています。そこで得た情報等を参考にしながら本人を中心とした支援の展開家族との連携、地域社会への参加を楽しみをもって活動出来る支援内容を設定しています。今年度中に調整出来次第お招きしアドバイスを頂く予定。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			支援計画に基づいた支援を行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			定期的にカンファレンスを行い、活動内容の立案、評価を行っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			一人ひとりに合わせた活動内容を設定しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			発達段階に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、短期、長期目標を設定しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日小ミーティングを実施。その日の支援内容や役割について確認しています。（送迎状況によってラインの活用もあり）
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には、支援の振り返りを行い、情報共有が出来る時間を設けています。（送迎状況によってラインの活用もあり）
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			その日の支援内容を記録にとり、改善や配慮が必要な情報を共有しています。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、発達に合わせた計画の作成に勤めています。

関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議には、児童発達管理責任者が参加しています。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			保育園、幼稚園等の関係機関と情報共有を行い、支援内容の工夫、改善を行っています。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			○	現在、医療的ケアが必要な方、重症心身障害のある方の受け入れ実績はありません。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○	
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	日々のアセスメント記録や支援内容に関して、情報提供できる体制を整えております。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○	
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	児童発達支援センター主催の研修等に参加し助言を頂いています。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	現状実績なし
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			各管理者・事業所で順番を決め参加する様努めた。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に保護者様への情報提供を行い、共通理解に勤めています。
㉚	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			書面にて日程の有無を確認後面談を実施しました。	

保護者への説明責任等

③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に詳しい説明を行っています。
③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			契約時に詳しい説明を行っています。
③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様よりお子さまのことでの悩みごと等の相談を受けた際は、関連機関と連携を取り、助言をお伝え出来る様努めております。
③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		書面にて日程の有無を確認後面談を実施しました。
③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			対面では難しい情勢だった為、電話をメインに行い必要に応じてメールや連絡帳で対応しました。
③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			書面を活用し、定期的にお伝えしております。
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには細心の注意を払っております。
③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			特性に応じたコミュニケーションツールを使用する等の配慮を行っています。
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			全事業所のお祭りを開催する際には地域住民の方へ挨拶と案内を出しています。

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			保護者様へ各項目を書面にて配布⇒署名を頂き周知。職員はその都度会議で伝えている。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			定期的実施、記録している。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			契約時にフェイスシートの記入をして頂き、てんかん発作、アレルギー等の有無を確認。職員への周知を行っております。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			管理者会議、もしくは事業所での会議で職員に周知し再発防止に努めております。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			年に2回、虐待防止についての勉強会を実施しています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			2022年4月より身体拘束禁止法の義務化に伴い、次年度の(2022年度)個別支援計画より記載しております。